

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和3年12月)

～新型コロナ変異株の感染拡大で、先行き判断は続落～

- 景気ウォッチャー調査・12月調査の近畿地域の結果は、現状判断が54.2と前月比で4か月連続の上昇となった。前月からは0.1ポイントの上昇となっている。その一方、先行き判断は49.5と2か月連続の低下となった。
- 足元の景気については、12月下旬ごろまでは、新型コロナの感染が落ち着いた状態が続いたことで、飲食や宿泊をはじめ、各業種で回復傾向が進んだ。特に、クリスマスや年末商戦は好調な推移となり、百貨店や飲食を中心とする関連業種では客足の改善につながった。ただし、年末にかけて新型コロナ変異株の感染が徐々に増え始めたことで、不安の声が広がり始めている。
- 一方、半導体不足のほか、各種の原材料価格の上昇による悪影響は続いており、生産の減少や納期の遅延、収益の悪化といった動きにつながっている。
- 先行きについては、新型コロナ変異株の感染拡大に対する懸念が高まっている。重症化率の低さが伝えられているほか、3回目のワクチン接種、経口薬の普及への期待が不安を和らげる部分もあるものの、感染拡大に伴う人流の減少が予想される中、百貨店や飲食、宿泊関連を中心に懸念の声は多い。期待されていたG・O・T・O事業の再開につき、時期が不透明となったことも、宿泊関連を中心に打撃となっている。
- それに加えて、各種の原材料コストの上昇が続く中、価格転嫁の見通しは厳しく、先行きを不安視する声も多い。徐々に店頭価格の上昇が進んでいることを受けて、消費マインドへの低下につながることも懸念されている。

「新型コロナ変異株」関連のコメント(先行き判断・家計のみ)

家計動向関連	やや良くなっている	一般小売店〔菓子〕 (営業担当)	・前年と比べると落ち込みは少ない気がするが、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がることを考えると、先行きが心配である。
		百貨店(マネージャー)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大や3回目のワクチン接種など、様々な要素が見受けられるが、リベンジ消費への意欲は引き続き高まると予想される。特に、春に向けては外出の機会が増えるため、衣料品の買換え需要に期待している。
		衣料品専門店(店長)	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が続くなか、様々な報道もあるが、深刻な影響は回避できている。新型コロナウイルス新変異株に関しても、重症化しにくいという特徴を前向きに捉え、3か月後に来店するという声もあるため、今後に期待している。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かっているが、新型コロナウイルス新変異株の動向次第では悪くなる可能性がある。
		都市型ホテル(スタッフ)	・少人数での宴会のほか、クリスマスディナーといったイベント関連の客足が戻っている。一方、来月以降も1テーブルで4人までという制限が延長されたことで、宴会のキャンセルが相次いでいる。また、新型コロナウイルス新変異株の発生による自粛の動きも増えており、厳しい状況がしばらく続く予想される。
		都市型ホテル(管理担当)	・新型コロナウイルス新変異株の感染対策ができるようになり、春のシーズンには宿泊客が増加すると予想している。
		タクシー運転手	・年末年始にかけて、少しずつ旅行のパンフレットの配布数が増えている。今後は、新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第となるが、3回目のワクチン接種もあるため、ある程度は抑えられると期待される。
		観光名所(経理担当)	・新型コロナウイルス新変異株の重症化率が低いことに加え、重症化を防ぐ飲み薬も出ており、感染したら終わりという状況から変化してきている。
		遊園地(経営者)	・平時の水準は下回るものの、前年を大きく上回る来客があり、消費にも積極的で、前月よりも回復が実感される。新型コロナウイルス新変異株の発生による影響は、現時点ではみられないものの、まだ明るい見通しを持つまでには至らず、投資などの判断は慎重にならざるを得ない。

家計動向関連

変わらない

商店街（代表者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想されるため、高齢者の外出が慎重になる。
一般小売店〔花〕（経営者）	・このまま取引先の営業が安定してくればよいが、新型コロナウイルス新変異株の影響でどうなるか、全く予想がつかない。
一般小売店〔野菜〕（店長）	・来年以降、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がるようであれば、急激に状況が変わる。
百貨店（企画担当）	・このまま少しずつでも回復すればよいが、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すれば、現在のの上向き傾向は止まってしまう。いずれにしても、コロナ禍前の水準に戻ることはない。
百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルス新変異株の発生により、徐々に新規感染者数が増加傾向にある。増加のペースによっては、先行きの不透明感が更に高まる。
百貨店（サービス担当）	・今後は新型コロナウイルス新変異株の市中感染の拡大が懸念されるが、今までの感染症対策を参考に営業活動を維持することで、売上は確保できると考えられる。
百貨店（売場マネージャー）	・10月に全国で緊急事態宣言が解除され、来客数が増加傾向となっているが、今後は新型コロナウイルス新変異株の感染状況に左右されると懸念している。
百貨店（販促担当）	・今はコロナ禍からの反動で、動きが活発化しつつあるが、春先も同様に活発な動きが続くと予想される。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大への懸念はあるが、3回目のワクチン接種や更なる医薬品の開発期待などから、緊急事態宣言が発出されるような状況にはならない。2年ぶりに春を満喫し、花見や新年度の集い、お祝い需要などで消費が活発に動く予想している。今後も、良い物やこだわりの物を中心とした商品展開や、体験型商品の提案が重要だと認識している。
百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波の発生で、不安な年末年始となりつつあり、前月から回復に向かっていた売上にも少しブレーキが掛かっている。新型コロナウイルス新変異株に対応したワクチンの追加接種や、治療薬、医療体制の整備、ウィズコロナの体制の確立といった条件がそろうまで、消費の回復には少し時間が掛かりそうである。
百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大に伴う不安から、消費マインドは大きく回復しない。
百貨店（マネージャー）	・売上の推移を景気の変化と考えると、次のような2つの動きがみられる。1つは、新型コロナウイルス新変異株などの感染拡大で、直近の来客数や売上は増加傾向が止まりつつあり、ここ数か月のような回復傾向がみられない。2つめは、来客数は増加しているものの、売上が比例していない。コロナ禍の影響は大きいが、必要な物と不要な物との選別が消費者の間に根付きつつある。その結果、今後は成長するカテゴリーと悪化するカテゴリーが二極化し、結果的に売上は大きく変わらないと予想される。
百貨店（特選品担当）	・新型コロナウイルス新変異株による新規感染者数が、日に日に増えている。重症者数は少ないものの、今までの経験から先行きは不透明であり、油断はできない。
百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルス新変異株の脅威はあるものの、感染対策をきっちりしていれば、必要以上に不安がなくてよいとの認識が、高齢者にもある程度浸透している。急激な人流の減少は、取引先を含めて想定しておらず、年明けから春にかけては、前々年比で80～90%まで売上が回復すると予想し、商材を確保している。
スーパー（店長）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大のおそれが出てきたため、外出や旅行、帰省などにブレーキが掛かってくる可能性がある。
スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大による外出自粛がなければ、現状の動きが続く。
スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている状況で、以前のような自粛モードになると、家庭内での食事や調理需要が増える。食品スーパーとしては売上の増加につながるが、いい加減に通常の消費に戻ってほしい。
スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大傾向がみられ、今後の推移が懸念される。ただし、重症化リスクが大きくなく、経済活動に大きな制約がなければ、外出や外食などの支出も増加し、平常時の動きに戻っていくと考えられる。その場合、食品スーパーとしては売上減少となる。
コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増えている。感染を抑えられるかどうかで、今後の経済状態が変わってくる。
衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想され、景気の回復は見込めない。ただし、来年度には多少期待している。
乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大懸念はあるものの、一時的にコロナ禍が収束しているため、消費が戻ってきている一方、人手不足が深刻な問題になっている。今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるため、景気もまだ正常には戻らない。
その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大により、更に来客数が減る。旅行関連の商品も余り動いてないように感じる。
一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルス新変異株の影響がどうなるかによって、今後の状況が左右される。
その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は一旦減少しているが、新型コロナウイルス新変異株が発生したため、客の間では買い控えがみられる。
観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束に大きな期待を持っていたが、新型コロナウイルス新変異株が発生し、様々な活動が止まっている。
都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が予想されるが、重症者数や死者数の増加には至らない。
タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況を皆が注視している。不安を解消する材料が3回目のワクチン接種しかなく、感染拡大による影響が今後の動きにすぐ反映されるため、まだまだ景気は平行線をたどる。

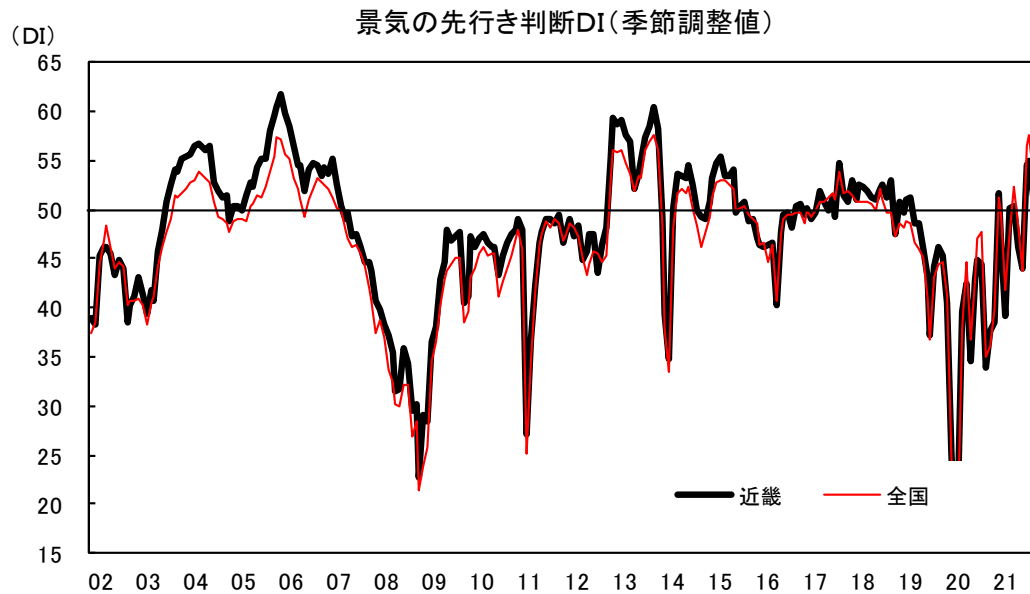
家計動向関連

変わらない	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の影響で、今後も厳しい状況が続く。
	通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言解除後は、アミューズメント施設の集客が改善傾向にあり、ゲーム機の新製品購入が期待できる。ただし、新型コロナウイルス新変異株により状況が再び悪化する懸念もあるため、予断が許されない。
	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況によるが、全体的には人流が戻りつつあると感じる。新型コロナウイルス新変異株がブレーキになっているため、仮に重症化しないとの判断が出れば、経済活動が活発化する。
	その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	・新型コロナウイルス新変異株による感染第6波の影響次第であるが、消費マインドは低下している。
	その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は少ない状態を維持しているが、今後は新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念される。プロ野球シーズンが終わり、1～2月はイベント開催日が5日間であるため、来場者数は減少する。なお、3か月後の状況は不透明であるため、現状と変わらないと判断される。
やや悪くなっている	一般小売店 [事務用品]（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の発生もあり、今後は様々な業種に支障が出てくる。
	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性があり、それに伴って消費が再び冷え込むと予想される。
	スーパー（経営者）	・小麦粉や大豆、食物性油脂など、家畜の飼料にも使われるベーシックな商材の値上げが前年は相次ぎ、今後も予定されている。一部の商品は5回目の値上げとなっている。世界の景気、特に日本の景気の回復が鮮明であれば、値上げを吸収できるが、それが難しければ必ず価格競争が復活する。現状、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念されており、先行きは不透明である。
	スーパー（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されている。ただし、これまでは感染の拡大や外食の時短営業が内食需要の増加につながってきたが、徐々につながりにくくなっていると感じる。むしろ、客の節約志向の高まりが気掛かりである。
	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルス新変異株の新規感染者が増えると予想される。今後の状況次第では、また緊急事態宣言が発出されると心配している。
	家電量販店（営業担当）	・ここへきて新型コロナウイルス新変異株の感染が広がりそうで、また自粛ムードが強まりそうである。
	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況次第で、来客数は減少する。
	都市型ホテル（客室担当）	・緩やかながら予約数は回復していたが、新型コロナウイルス新変異株の影響で予約のペースが急激に落ち、キャンセルも増加している。増えていた間際の予約も減少している。
	タクシー運転手	・新型コロナウイルス新変異株の影響で悪くなる。
	通信会社（社員）	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大状況や、それに伴う緊急事態宣言の発出の有無にも左右される。
	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による、感染第6波の発生が予想される。
	その他レジャー施設 [飲食・物販系滞在型施設]（企画担当）	・新型コロナウイルス新変異株による、感染第6波の発生を懸念している。
	その他サービス [学習塾]（スタッフ）	・新型コロナウイルス変異株の感染が落ち着いたところで、新たに新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の兆しがみられる。先行きへの不安感が消費にも影響を与える。
	悪くなっている	一般小売店 [衣服]（経営者）
競輪場（職員）		・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるほか、物価の上昇も不安材料である。

「物価上昇」関連のコメント(先行き判断)

家計動向関連	変わらない	百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルスの感染収束時期が不透明であり、原材料価格や物流費の高騰で商品単価も上昇している。中間層の客は所得が増えないなか、積極的な消費には結び付かない。取引先でも人件費の削減や商品の生産抑制といった経費削減の施策が目立っており、大きな改善は望めない。
		スーパー(開発担当)	・値上げなどによる物価の上昇により、景気が悪化していく。その影響で賃金の上昇は見込めず、インフレだけが進んでいく。
		その他専門店[宝石](経営者)	・新型コロナウイルスの影響と、物価の上昇が続いていくため、客の心理面に対するネガティブな影響が続く。
	やや悪くなる	スーパー(経営者)	・小麦粉や大豆、食物性油脂など、家畜の飼料にも使われるベーシックな商材の値上げが前年は相次ぎ、今後も予定されている。一部の商品は5回目の値上げとなっている。世界の景気、特に日本の景気の回復が鮮明であれば、値上げを吸収できるが、それが難しければ必ず価格競争が復活する。現状、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大も懸念されており、先行きは不透明である。
		スーパー(店長)	・原材料価格の値上げもあり、年明け後は買い控えや節約傾向が強まると予想される。
	悪くなる	住関連専門店(店長)	・輸入原価の高騰、貨物の入港の遅れなどが目立ち、売りにくさはむしろ増している。
企業動向関連	くやなる良	輸送業(営業担当)	・お歳暮やおせち、冷凍のかになどの運賃が値上がりした一方、予算が決まっているため、購入商品は全体的に安い物になっている。ただし、荷物量の増加もあり、運送業者は利益が増えている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業(管理担当)	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大で、先行きは不透明である。新薬の開発は着実に進んでいるが、新型コロナウイルス新変異株の感染が広がる可能性もある。先行きは不透明であるが、経済も回す必要があるため、人流が極端に減ることはないと思われ。さらに、円安や原材料価格の高騰、半導体の供給不足などの懸念材料もあるが、景気に大きな影響はなさそうである。
		一般機械器具製造業(設計担当)	・様々な資材や部品の供給不足があるほか、価格高騰の影響も出てくるが、まだ許容範囲であると感じる。
		建設業(経営者)	・コロナ禍の影響で、設備投資の計画が凍結や延期になりつつあるほか、資材価格の高騰や納期の問題が重なり、今後も状況は不透明である。
	くやなる悪	食料品製造業(従業員)	・ここ数か月で、全ての原材料や資材価格の値上げが実施される。製品の販売価格に転嫁すると、量販店との取引がなくなることも想定されるため、最終製品の値上げには踏み切れていない。
	悪くなる	化学工業(企画担当)	・食品の原料価格の高騰が止まらず、改善の見込みがない。値上げが追い付かない状況が続いているため、通常であれば年末年始の食品最需要期であるが、利益の出ない状況になっている。
雇用関連	変わらない	職業安定所(職員)	・今後の見通しについて、新規求人数は単月で卸売・小売、宿泊・飲食が増加したが、企業からは原材料費の高騰や新型コロナウイルス新変異株の感染拡大への懸念があり、まだ力強さは感じられない。一方、求職者の増加で労働市場がひっ迫する懸念もあり、今後は注視が必要である。
		民間職業紹介機関(職員)	・原材料の不足や価格の高騰、輸送コストの上昇、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大、人手不足など、景気回復に向けた懸念材料の払拭に時間が掛かる。
		学校[大学](就職担当)	・消費者の生活が苦しくなるため、物価上昇が景気を押し上げるとは思えない。また採用活動においても、目標人数が確保できなくても終了する傾向があるため、先行きは不透明である。

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

		19年 20年												21年												
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
現 状 判 断	近畿	38.0	42.4	26.1	14.7	8.3	19.6	39.3	42.0	43.4	46.7	49.2	39.9	31.7	31.7	42.4	49.8	33.3	38.2	49.3	49.7	36.2	42.0	52.3	54.1	54.2
	(全国)	38.3	41.9	27.9	14.9	9.4	17.0	40.0	42.2	43.7	47.8	53.0	43.8	34.3	31.2	41.3	49.0	39.1	38.1	47.6	48.4	34.7	42.1	55.5	56.3	56.4
先 行 き 判 断	近畿	45.2	40.4	25.3	20.0	20.2	39.6	42.5	34.6	42.8	44.9	44.4	33.9	37.6	38.4	51.6	46.9	39.2	50.1	50.3	46.2	43.9	54.5	55.0	51.3	49.5
	(全国)	44.6	41.4	24.8	19.8	17.9	37.9	44.6	36.7	42.9	47.1	47.7	35.0	36.1	39.9	51.3	49.8	41.7	47.6	52.4	48.4	43.7	56.6	57.5	53.4	49.4

※季節調整値